2007 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
物理系薬学実習	薬学部薬学２回生	川瀬　雅也

授業テーマ

物理系薬学領域の中で物理化学・分析化学の基礎を実習を通して学ぶ

授業の概要と目標

コアカリキュラムにおいて薬学部生に必要とされる技術を学ぶ。
物理化学・分析化学の基礎技能に加えて、放射化学の技能についても学ぶ。

評価方法

出席と実習レポートにより評価する

テキスト	著者	出版社
薬学分析化学の基礎と応用	片岡洋行・田和理市	廣川書店

参考書	著者	出版社

授業スケジュール・内容

実習の基礎となる事項は、実習講義にて学ぶ。特に、誤差論を中心としたデータと取り扱い法を学ぶ

以下の項目を実習する

○　分析器具の取り扱い
○　溶液の調整
○　滴定法による定量分析
○　錯体形成
○　分光法による物性解析と定量分析
○　HPLC による定性・定量分析
○　放射線測定
○　熱分析法と X 線分析法による物性解析

実習は全部で１０項目
他、５回の実習講義を予定

実習補助：森本正太郎、錦織理華